

「全国一般風ノ向キ八定
リナシ天氣ハ変リ易シ但
シ壓大勝手」。全国的に風
向きは時に決まらず、天気
は変わりやすく、雨が降り
やすい。明治17（1884）年6
月1日、日本で初めて天気予報が
発表された。もともと、凶容はな
んとも大ざっぱである。▶当時は
観測所の数も少なく、低気圧の仕
組みについても解明されていなか
った。その後も、予報はなかなか
当たらない。業を煮やした中央新
聞が26年6月、社説で中央气象台
にかみついた。予報官は気象学会
誌ですぐ反論する。「予報もしく

は予言の百発百中は得て望むべか
らざるものなり」▶百発百中は
無理にしても、予報の精度は飛躍
的に向上している。厳重な警戒を
呼びかけていた気象庁の予報通
り、昨日、東日本の太平洋側を中
心に局地的豪雨に見舞われた。通
勤ラッシュに向かう人たちは、心
の準備ができていたのだろうか。心
配していた混乱は起きなかった
▶その気象庁が6月19日から12
日先までの気温の予報をホームペ
ージで毎日提供することになら
た。温度変化による農産物の障害
発生の防止や熱中症対策に役立
てもらったのが狙いだ。電力の需要

変化の予測や季節商品の在庫調整
にも活用できる▶気象庁予報課
長などを歴任した古川武彦さん
は、気象に携わることを天職と心
得ている人たちの「天気野郎」と
呼んでいる。「どちらかといえは
世の中を機敏に渡ることを善とし
ない、あるいは不得意」人が多い
らしい（『人と技術で語る天気
予報史』）▶かつて予報官の経
験や主観が物を言った天気予報
は、今やスーパーコンピュータ
を駆使した数値予報に取って代わ
られた。それでも、天気野郎たち
の誠実な仕事に支えられている点
では、いまだかの変化もない。